

第1学年 音楽科学習指導案

日時：令和6年6月18日（火） 第2校時 場所：1年生教室

授業者：

1. 題材名 「はくについて りずむをうとう」

2. 指導観

(1) 題材について

前題材より続く「拍」に焦点をあてた学習である。リズムの違いやまとまりを感じ取り、拍やリズムに対する感覚を楽しみながら身に付けることをねらいとしている。歌う・打楽器を演奏する・聴く・体の動きを使って表現するなど、多彩な活動を通して、リズムと拍との関わりから感じる曲の楽しさを見出すことができるようにしたい。また、音楽づくりの導入として、言葉から生まれるリズムを用いた簡単なリズム遊びを行う。拍にのって言葉を唱える活動の中に、「反復」や「呼びかけとこたえ」による面白さを味わうことができるようにしたい。

(2) 児童の実態について

音楽が好きな児童が多く、のびのびと音楽活動を楽しんでいる。前題材では、曲に合わせて拍打ちや足踏みをしたり、踊りやリズムリレー等で遊んだりする活動を通して、「拍」の意識を定着させてきた。しかし活動自体に夢中になると、拍外れの動きが気になる児童もいる。

本題材では、既習曲を歌う中のリズム遊びを常時活動として継続するとともに、ペアやグループといった仲間との関わりも十分に取り入れることを通して、楽しさや気付き、表現の確かさを高めたい。

3. 研究内容に関して 【研究内容Ⅱ（2）】

言葉のもつ自然なリズムを、既習のリズムパターンと無理なく結びつけるため、更に、仲間と考えを伝え合い、共有するための手立てとして、ICT活用を試みる。手元に挿絵や絵譜があることは、即興的にリズムをつなぐことが苦手な児童にとっての支援となり得ると考える。また、ペア活動中に一定の拍の流れを示したり、適度な声の大きさを促したりして、聴き合う活動を効果的に行うことができる環境になるよう配慮したい。

4. 題材構造図（指導計画）（別紙）

5. 本時のねらい

●●|●・ と●●|●・ のリズムに合う言葉を選んでつなげる活動を通して、「くりかえし」（反復）と「くみあわせ」（呼びかけとこたえ）の違いによる面白さに気付くことができる。

6. 本時の展開（7/10）

	学 習 活 動	指導上の手立て・留意点・支援等
導 入	<p>1 学習の雰囲気づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 拍にのって「返事リレーチャレンジ」をする。 リズム打ちをしながら、既習曲を歌う。 <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> りずむにあうことばをつなげて たのしくれえしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> <ことばでりずむ>の活動の概要を知る。 絵を見ながら、A/B のリズムに合わせて言葉を唱える。 手拍子でリズム打ちしながら、拍にのって言葉のリレーをする。 ワークシートで、言葉をAとBのリズムに仲間分けする。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材を通して、多彩な活動を順に繰り返し位置付ける。 楽器の音色や発声に気を付けて表現している児童を価値付ける。 前時までに学習したリズムについて確認する。 A●● ●・ B●● ●・ リズムと言葉の音数に関係があることに気付くよう、ICTを活用して挿絵とリズム絵譜を一致させながらリズム唱する。 発表ノートにワークシートで各自が操作できるようにする。
展 開	<p>3 2つの言葉のつなぎ方を練習する。（教師 ⇄ 全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> くりかえし（反復） → 教師の言葉を模唱する。 くみあわせ（呼びかけとこたえ） → 教師の言葉と異なる言葉を選んで唱える。 <p>4 ペアになって即興的に言葉をつなぎ、それぞれのつなぎ方の面白さを味わう。</p> <ol style="list-style-type: none"> くりかえし → 相手の言葉を模唱する。 くみあわせ → 相手の言葉と違う言葉を唱える。 <ul style="list-style-type: none"> 2つのつなぎ方の面白さについて、気付いたことを伝え合う。 くりかえしは、まねっこするのがかんたんでおもしろいな。 くみあわせは、むずかしくてどきどきするけどおもしろいな。 <p>5 まとめの表現をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が選んだお気に入りの言葉をつなげてみんなでリレーし、2つのつなぎ方を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 拍にのって即興的に言葉を選ぶのが難しい児童には、仲間分けしたワークシートを見て選ぶとよいことを伝える。 挿絵以外の食べ物を選ぶ児童の発言も、適宜位置づけ評価の参考にする。（広げ過ぎない） 活動に入る前に、「声のものさしは2」、「先生の拍に合わせて」を確認する。 活動中のつぶやきや会話に留意し、それらをもとに「面白さ」の言語化を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価規準【知識】 言葉のリズムのつなぎ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 聴く側が2つのつなぎ方を聴き分けられるよう、2列ずつ交代で表現する。
終 末	<p>6 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次時への見直しをもつ。 一人一人がお気に入りのつなぎ方でことばを選び、楽しいリズムをつくらう。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな表現を試したり、楽しんだりできた姿を十分に価値付ける。